

ながい 議会だより



3月議会定例会

町づくりを問う

一般質問6人が登壇

議会報告会資料

②

⑨

⑮

学び舎の坂も春らんまん

議会ホームページ



第199号

令和 4年5月1日発行

神奈川県中井町議会

予算を審議

3月定例会

3月1日～11日

総額 71億6,030万円

主な審議内容

一般質問6名	6問
条例改正	6件
補正予算	3件
人事案件	3件
人諮決	1件
諮議	1件

歳入

問 収入が大きく落ち込んだり、コロナで苦しんでいるところに支援対策が必要では。

答 現状では対策や検討を行っているが、今後の状況によっては検討をしていく。

総務費

7億2,522万円

問 本町のモビリティにおける環境促進の取り組みは。

答 町用車は低排出ガソリン車、ハイブリッド、電気自動車に移行したいと考えている。

問 わたしの提案制度は広報等を活用し、内容等を載せては。

答 そのような形でもっていきたいと思っている。

問 公共施設等総合管理計画の主な改訂のポイントは。

答 人口減少等に応じた需要事業の変化を確認し、方向性を改めて出していきたい。それぞれの立地面と、施設の統廃合等を含め検討する。



シティプロモーションアワード2021金賞授賞

問 町内4カ所（役場入口、北田、原、井ノ口小学校前）バスの駐輪場設置は何台利用可能か、屋根等の附属品はつのか。

答 1カ所あたり10台弱を予定している。屋根は考えず、盗難防止用チェーンバーの設置。

問 三世代同居等推進事業補助金は一度、町内のアパートに住所を移し住宅取得等した場合は補助の対象外だが検討は。

答 令和4年度から、一度町内のアパートに入って、その後、住宅の取得をして三世代同居等に該当する方は補助する。

問 ねんりんピック事業の知名度を上げるための広報活動は。

答 県の主催。町としてもコロナの状況も見ながら、啓発活動はしていきたい。

問 大学連携事業は学生の発想等を活用した事業創出とのことだが、どのような形で展開されていくのか。

答 イベントを紹介するポスターの作成やコーナーを学生に担ってもらおう。

問 シティプロモーション事業費は今年度予算では1249万円増となっているが、どのような事業を予定しているか。

答 サンリオキャラクターの活用とファンミーティングで参加者が素材を集めたフォトブックを作成していきたい。

問 ホームページの改修を行い、サーバー容量が3倍となり、スマートフォンやタブレットなどの使い勝手がよくなる。

答 ホームページの改修を行い、サーバー容量が3倍となり、スマートフォンやタブレットなどの使い勝手がよくなる。

問 自治会館修繕費補助金の内訳は。

答 トイレの洋式化と屋根とか外壁等の補修で4自治会からの要望。

問 ホームページのサーバー使用料の増額理由は。

答 ホームページの改修を行い、サーバー容量が3倍となり、スマートフォンやタブレットなどの使い勝手がよくなる。

問 情報活用推進協議会の航空写真の撮影はどのような目的か。

答 固定資産税の評価に、その航空写真を活用している。

問 保健福祉センターの工事内容。

答 町の長寿命化計画に基づいて、屋上の防水工事と、駐車場工事と照明のLED化を行う。

問 町の老人クラブの状況は。

答 3クラブ109名で活動をしている。活動を盛んにするといった取り組みはできていない。

問 町の老人クラブの状況は。

答 3クラブ109名で活動をしている。活動を盛んにするといった取り組みはできていない。



民生費

12億 227万円



令和4年度



一般会計予算 41億3,280万円

衛生費

3億7812万円

問 ごみ収集運搬委託料が1038万円増になっているが。

答 長期継続契約での締結をしている。現在の契約が3年前の契約ということで、今回、労務費等の値上がり分を加味した。

問 比奈窪の公衆トイレの着工時期、工事期間は。

答 ユニットタイプのトイレを設置。受注生産で、4、5月に発注して、半年位かかる。

問 あしがら上地区資源循環型処理施設整備調整会議の進捗状況は。

答 1市5町の広域準備室において、候補地に対して丁寧な説明等を行いながら、地元のご理解を得られるように進めている。

問 3回目のワクチン接種の完了はいつころになるか。

答 一つの目安としては7月末。

問 子どもの接種については。

答 4月の集団接種から土曜日、月1回で計画。7月までにおよそ希望する対象児の接種が完了する予定。

商工費

1億3055万円

問 震生湖散策路整備の構想は。

答 秦野市から中井町側も同じような施工方法で整備を進めてほしいという要望があり、町でも観光振興や学習の場として活用できるよう整備を実施。



震生湖碑

問 フェスティバルなど町民と共に創り上げる大切なイベントの予算が減額されているが。

答 実行委員会の繰越金を充当。

問 ふるさと納税の返礼品委託料ですが、4年度はどの程度の件数、寄付額を想定しているか。

答 件数については4000件程度。新たに、ゴルフ場にかかるさと納税自動販売機を設置するが、それを含め1億2000万円を見込んでいる。

農林水産業費

1億7603万円

問 新規就農者への補助期間5年を過ぎて、町として支援を具体的に検討しているか。

答 サポートに関しては、県・農協と連携し、営農状況・販路先など町の得ている情報を提供している。

問 鳥獣被害が増加している。令和2年度の捕獲状況は。

答 イノシシ153頭、鹿12頭、ハクビシン、タヌキ86頭

問 ドローンを活用した生息調査は。

答 昼夜飛行した。合成した地図を作成し、農の設置場所、被害場所をプロットし、そのデータを基に捕獲実績が上がっている。



土木費

7億1220万円

問 都市公園費7655万円の仔細は。

答 公園内の木製階段の補修655万円、多目的広場の芝生整備工事7000万円。

問 中央公園多目的広場の芝生の経緯、工事期間、使用料金、また年間の維持管理費は。

答 スポーツの振興を図るため、総合計画に基づき整備。6、7月頃から着工し、秋口の完成を予定している。4年度の使用料

問 児童公園工事請負費はどこ

答 トイレ改修工事は宮原児童公園、滑り台は宇多利公園を予定。

問 橋梁修繕設計委託料で東名高速境大橋の現在の状況は。

答 令和2年度に点検をし、判定結果3で補修が必要な橋梁。細部を調査し、補修箇所、補修方法などを改めて委託する。

問 都市マスタープラン改定事業で町の将来のあるべき姿とは。

答 都市の将来像をどう描いていくか、都市計画審議会の意見を聞きながら、20年後の都市づくりを現在進めている。

問 今後の都市計画の主なものは。

答 南部地区の土地利用や県道

問 国土強靱化計画の策定に至る経緯は。

答 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災、減災等に資する基本法が策定され、努力義務であるが4年度に作成する。



71号線の調整区域の市街化編入、井ノ口上地区の市街化編入など。

問 町道藤沢小竹線及び大畑線の予備設計修正業務委託費とは。

答 県が計画している藤沢川の改修に伴い左岸側、右岸側を通る町道の設計。

問 地域防災計画と強靱化計画の整合性は必要では。

答 主に、発災後の対象策等を取りまとめたものが地域防災計画。国土強靱化計画は平時からの取り組みを幅広く位置付けた都市づくりの方向性を示す計画。

教育費

問 総合グラウンドのトイレはどのようになるのか。いつ完成か。

答 車椅子が入れるユニバーサルデザインのユニットトイレを1基。小便器と手洗い器は現状のものを使用。受注生産なので半年くらいかかる。

問 学力検定受検料補助金の周知並びに申し込み方法等は。

答 ホームページ、「わかくせ」等で周知。児童・生徒・保護者の方が申し込む。全生徒の学力アップが大前提と考えている。

問 総合型地域スポーツクラブの設立の計画は。

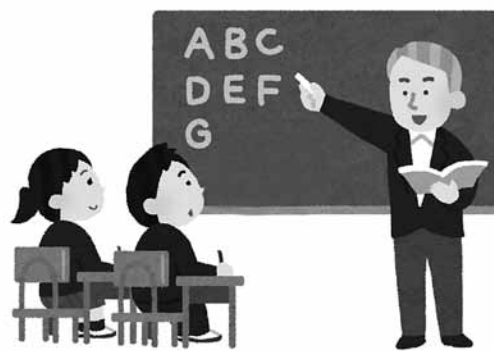
答 スポーツクライミング、パラスポーツ体験、ウォーキングイベント啓発やPR事業を考え、今仲間づくりに動いている。

問 土曜学習事業費が、大幅の減額となっている理由は。

答 算数、数学の土曜学習をなくすので減額となった。幼児ク

3億6891万円

ラスの親子参加は改善センターの月2回となる。英語に特化する。



問 外国人講師設置事業費の増額の理由は。雇用は委託なのか。

答 各学校に週3日の授業を5日に増やす。町の直接雇用。

問 郷土資料館のトイレ内装工事の仔細は。利用状況と今後は。

答 危険なので早い時期にと考えている。利用者は年間40名弱と減っている。目的の明確化、現実的な価値を高める取り組みが必要。

問 給食費の完全無償化が4月から実施。学校給食への要望は。

答 保護者からの要望は特にな

問 不登校の児童・生徒数は。

答 小学生2名。中学生10名前後。

国民健康保険特別会計 12億2332万円

問 国保税減額を取り組まれてはどうか。

答 国保の財政は非常に厳しいと認識しており、基金を今後においても、適切に活用を図っていくことが必要であると考えている。

介護保険特別会計 9億 780万円

問 認定調査費は、わずかだが減額傾向にあるが、理由は。

答 コロナの影響で、診断や面会ができないというような事情等で微減。

後期高齢者医療事業特別会計
1億7745万円

問 10月からの保険料2割負担を打開するために、政府へ財政投入を働きかけることが必要と思うが。

答 現役世代の負担軽減を配慮して、全世代で支え合う医療制度を構築していくことが、今回の制度改正の主たるところと認識。

下水道事業会計
4億4610万円

問 下水道管の管路調査はどのように行つたのか。

答 下水道管路の内部にテレビカメラ等を入れて、管路内のおび割れ等の調査。目視で人孔の状況や鉄蓋の腐食状況を調査。

問 配水戸数が増えて有収水量が減っている理由は。

答 有収水量は家庭用と事業所用が減り、下方修正した。

に
対する
反対討論

尾尻孝和 議員

学校給食の無償化、火葬料補助引き上げ、比奈窪バス停トイレの改修、オンデマンドバスの自宅前までの運行の取り組みが対象限定で始まりませう。

これらを歓迎するものですが、一方で、小児医療費助成の高校生までの拡大、高校生通学費補助、高齢者の補聴器購入補助――これらはすべて先送りとされました。

増え続ける高齢者への敬老祝い金は削られたまま、町民の公共施設利用料徴収もそのままです。困っている町民に手を差し伸べたくても、限られた職員人数でまかなえない状態です。今年3月の基金残高は24億円を超える見込みで、予算規模の6割近い金額です。

少子高齢化・人口減少が進むなか、行政の役割は毎年貯金を殖やすことなく、町民の福祉の増進を図ることにあるのでは。将来の学校校舎や庁舎などの延命・建て替え、道路や上下水道などのインフラ更新を見すえた

に
対する
賛成討論

峯尾 進 議員

コロナ禍の中で、令和4年度当初予算が提示されました。一般会計予算額は41億3280万円と前年対比9980万円増となり、特別会計を含めた予算総額は71億6030万1千円と前年対比6千万2千円と0.8%増となりました。

コロナ禍や地政学的リスクが高まる中でありますが、「活力・快適・安心」を重点目標として、町民のくらしを守り、持続可能な町づくりに予算編成されたことを評価いたします。「活力の創出」ではシティプロモーション事業や観光促進面での予算拡充など見られますが、本町の知名度アップが定住促進にどの程度結びつくかは、コロナ禍の時期からしても不透明であり、その工程においての検証など重要と考えます。また行政サービスの情報化、発信能力の向上として役場窓口のキャッシュレス化など情報システムの充実により、町民サービスの向上と庁内業務の効率化を図られた事や、小中

学生の学校給食の全額無償化や妊産婦検診の公費負担拡充と移動助成など、暮らし・子育てに直結した予算には、ここから始まる感があり、今後が期待されます。最後に安心プランにおいては、災害の未然防止と減災・土強靱化計画の策定によって、地域防災計画と併せ、町民の生活を守る施策の一層の充実が図られることを期待いたします。このことから、予算案においても、不安定な社会情勢を考慮しつつ、町民の生活を守ることに重点を置きながら、まずコロナ対策を先行しつつも、人口減少や公共施設の長寿命化対策に備えるべく、段階的かつ、慎重な予算配分が随所に見られました。今後も町の健全財政を維持しつつ、持続可能な町づくりとして将来に備えることをお願い申し上げて、令和4年度の中井町一般会計予算に対し、賛成の討論といたします。

予算対 反対討論

加藤久美 議員

地方自治体は「地域住民が暮らしやすく、持続可能な自治体をつくるには何が必要で、どのような施策がこの町に必要なか」という考えを元に計画、予算をたてるのが大切です。令和4年度も町は多額な予算をたて、観光客呼び込み、地域経済を活性化させることを元に人口増を狙いとした施策を強化しています。それは本当に持続可能な町づくりの有効なものでしょうか？先ずは長年滞っている町の課題解決に向け、成果を出すべきです。「町づくり」に協力したい」と各分野で手を貸してくれた町民は次第に声を上げなくなっています。「町」話をしても無駄だ、どうせ何にもならない」と思っているからです。ここに危機感を抱いていただきたいのです。優先すべきは「住民の生活を支える」ことであり、観光やPR活動は、町民満足度の高い町づくりが出来た後で行うべきです。住みよい町には自然

と人が住むようになるからです。令和4年度、総合計画を上位に、公共施設等総合管理計画・都市マスタープラン・国土強靱化計画と、とても大切な計画が、多額の予算を元に策定されます。繰り返しますが、こうした計画は「何の事業をやるか」よりも「何を目的に、どの方法で実現するか」として「確認、評価」が起点です。要するに「総合計画」が持つ、何を実現するために必要な事業予算が示され、優先順位を持って執り行うかが、重要なことです。令和4年度予算からは「地域住民が暮らしやすく、持続可能な町づくり」が見えてきませんでした。また、町長が自ら示した施策に対し、責任を負う強い覚悟で提起し、その上で、目的達成のため職員一人ひとりが何を行うのかが見えず、迷走していたからです。今一度、地方自治の原点に戻り、計画を見直し、町民に支持される町政を願い反対討論とします。

条例改正

●中井町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和4年4月に学校運営協議会を設置するにあたり、同協議会にて任命される委員については、地方公務員法第3条第3項に規定する特別職の地方公務員の身分を有することとなるため、委員の報酬等について定める必要があることから、改正を行いました。

●中井町税条例の一部を改正する条例

法人町民税について、地方税法の条項の移動に伴う改正を行いました。

●中井町地域集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

平成8年に施設整備を行った宮原会館について、令和4年4月1日付をもって、地域自治会へ譲渡するため、町の管理する

地域集会施設の規定から当該施設を削除する条例改正を行いました。

●中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、未就学児の被保険者均等割額を5割軽減することが定められたことから、所要の改正を行いました。

●中井町消防団条例の一部を改正する条例

入団適齢者人口の減少など将来的に新たな入団者を確保することが困難になると見込まれることから、入団可能者の間口を広げ、円滑な団員の確保が出来るよう民法改正による成年年齢引き下げに伴い、入団に係る年齢要件を引き下げる改正を行いました。

●中井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責

任共済等に関する法律の一部改正に伴い、条例の定める消防団員等公務災害補償を受ける権利を担保とする特例を廃止しました。

補正予算

■令和3年度中井町一般会計補正予算第11号

6485万2千円の追加
総額45億6222万9千円

歳出では、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や、事業費の確定に伴う減額その他、総務費では、基金積立費において、公共施設建設費積立基金を増額し、民生費では、町の私立保育施設に入所する園児の転入増加に伴う保育所運営費委託料、民間保育所の保育士に係る処遇改善のための補助金の増額、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰入金については、決算見込みに応じ、減額しました。歳入では、決算見込みに応じ、法人事業税

交付金、環境性能割交付金を減額した他、地方消費税交付金、地方特例交付金、新型コロナ地方税減収補填特別交付金、普通交付税を増額しました。また、町債については、普通交付税の追加交付に伴い、臨時財政対策債の借り入れを取りやめました。なお、民生費においては、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費及び子育て世帯への臨時特別給付事業費を、農林水産業費においては、農道整備事業費及び地籍調査事業費を、土木費においては、道路新設改良事業費をそれぞれ国・県の令和3年度補正予算等を受け、早期事業着手等目的に追加計上しましたが、年度内執行が困難なことから、繰越明許いたしました。

■令和3年度中井町国民健康保険特別会計補正予算第2号

317万5千円の減額
総額12億940万2千円

歳出では、実績見込みから保険給付費の一般被保険者療養給付費を減額し、一般被保険者高

額療養費を増額しました。歳入では、保険給付費の実績から交付される保険給付費等交付金並びに一般会計繰入金を減額する他、国民健康保険税及び前年度繰越金等の増額を行いました。

■令和3年度中井町介護保険特別会計補正予算第4号

2千587万円の減額
総額8億8千698万円

歳出では、保険給付費、地域支援事業費の実績に基づき、通所型サービス費、介護予防ケアマネジメント費を増額する一方、保険給付費の居宅介護サービス費、施設介護サービス費の減額を行いました。また、第8期介護保険事業計画の初年度であることから1080万円を介護保険給付費支払基金へ積み立てました。歳入では、介護保険料調停更正に基づく増額の他、国庫補助金、前年度繰越金等を増額しました。また、保険給付費の実績に応じて交付される支払基金交付金、県負担金、他会計繰入金をそれぞれ減額しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵略を行った。人々の尊い命と平和な暮らしが理不尽に奪われる事態を断じて看過できない。

本議会は、このような行為に対し、ロシアのウクライナからの即時完全撤退すること、合わせて、我が国を含む関係国政府においては、1日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うことを強く求め、全会一致で決議しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に

早野芳孝氏 (再任)

大原 勉氏 (再任)

相原利雄氏 (新任)

を選任することに
同意しました。

人事案件の諮問

人権擁護委員に

小澤重之氏 (再任)

を適任としました。

決議

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議をする決議

ロシアは2月24日、ウクライナへの軍事侵略を開始し、民間人を含む多数の犠牲者と200万人にのぼる避難民を出している。人命と平和な暮らしが理不尽に奪われる事態は、国連憲章を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固抗議する。

国際的な非難、経済制裁にもかかわらず、ロシアは核戦力部隊の警戒態勢を引き上げ、原子力発電所への攻撃・占拠にまで及んでいる。唯一の被爆国であり、恒久の平和を念願する我々は、この専制と圧迫を断じて許さない。

この侵略により、傷付くのは、ウクライナ、ロシア等の無辜の民である。

中井町議会は、ロシア及びベラルーシが、即時に攻撃を停止し、ウクライナから完全撤退すること、合わせて、我が国を含む関係国政府においては、1日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うことを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月11日

神奈川県中井町議会

令和 4 年第 1 回定例会

審議した議案等と審議結果

提出者	議案名	議員名	議決日	審議結果	石渡正次	古宮祐二	多田勲	峯尾進	井上泰弘	尾尻孝和	加藤久美	森文嘉	岸光男	原憲三	成川保美	
町長	中井町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町税条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町地域集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町消防団条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和3年度中井町一般会計補正予算(第11号)		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和3度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和3年度中井町介護保険特別会計補正予算(第4号)		3/2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町一般会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町国民健康保険特別会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町介護保険特別会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町後期高齢者医療事業特別会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町下水道事業会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	令和4年度中井町水道事業会計予算		3/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について		3/11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について		3/11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について		3/11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
町長	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		3/11	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
議員	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議をする決議について		3/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○

※戸村裕司議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問

土砂の埋立て等における環境保全対策は



峯尾 進 議員

町長 施行基準を細かく定め、環境対策に取り組む

昨今の土砂埋立て等は、土地利用の地盤形成として、欠かせないものになっている。大規模な土砂の埋立て・盛土・切土等は、地下水の枯渇や汚染・土砂の崩落・液状化など、大きなリスクを招きかねないこともあり、条例により無秩序な開発を規制している。このことから、特に、埋立て等については、地下水への影響など、将来を見据えた十分な見識と安全性をもって、施工方法の確認が重要となる。同時に、土砂の運搬時には周辺住民への交通安全と環境対策に十分な配慮と理解を得る必要があり、町での対応を伺う。

問 本町の地下水汚染に対する見識は。

答 地下水汚染は自然浄化作用が期待できず、一度汚染すると回復が困難ですから、監視体制の強化が大切と感じている。

問 町内事業所の検査や指導体制は。

答 有害物質を使用する企業は水質汚濁防止法で規定され、設備等の基準が定められて、県に

提出することになっている。

問 地下水の枯渇に関する心配をどのように捉えているか。

答 県の認可では1日最大9300m³になっており、井戸能力70%程度のポンプ設定で24時間水位を監視している。

問 土質の検査方法、確認作業の手順などのシステム化は。

答 盛土箇所は年2回の検査と



住宅地を走る運搬車

搬入するダンプカーは1台ずつpH検査を実施、異常数値が出た場合には受け入れず、詳細検査と報告書を町に提出することになっている。

問 土砂運搬時の騒音・振動・砂塵対策は。

答 周辺のほこり、振動等の現状は町でも確認しており、さらなる改善策について、関係組合、事業者等と連携して取り組む。

問 ダンプカーのタイヤの清掃をしっかりとやる道路にしないといけないと思うが。

答 タイヤの清掃施設を通じて公道に出ると聞いている。それらを再度徹底して、事業者を指導していきたい。

問 運搬経路や通学路の安全対策は。

答 組合では「県道松田羽根尾線交通事故防止連絡会」が組織され、学童に対する交通安全協定書が締結されて、通学時間帯

の通行は行わないとの約束になっている。

問 「砂利採取跡地協議会」の再開と周辺住民の環境対策など総合的な協議会にする考えは。

答 協議会に諮る案件が出た段階で再開を考える。個々の案件については、様々な協議会と組織もあり、お互いに連携して進め対応していきたい。

問 砂利採取・建設発生土受け入れに目的税を導入して、環境整備促進を図っては。

答 特別な財政需要の明確化や人件費等の徴収経費の検証など課題も多く、現時点で新設の考えはない。

問 第六次総合計画後期基本計画で活力・快適・安心の中で、住民の快適な生活のために、今まで以上にやって頂きたいが。

答 本当に安心して住める町にしていきたいが、トータルで判断して、できるところは税金を費やす形で考えていきたい。

一般質問

高齢者・女性・若者も 暮らしやすい町に



成川保美 議員

町長 高校生の通学補助は総合的に勘案し実施

問 三世代同居推進は、結婚の足が遠く条件にならないか危惧している。中井町は他市町村と比較して結婚率が低く離婚率が高い。因果関係はわからないが、時代の変化と三世代同居推

答 子育てや介護の関係など、地域を支える担い手となる。地域の活力も維持できる。

問 三世代同居にこだわる理由は。

答 三世代同居等推進事業補助金の補助対象者を拡充し、転出抑制に努める。後期基本計画に位置付けた各種施策を推進する。

問 若者たちが、将来中井町に定住するために必要な施策は。

少子高齢化時代に、持続可能な中井町を創るには、先を見据えながらも、公平・公正に全市民の状況に即した施策が必要。

女性たちの声を町政に反映し「住みやすく安心して暮らせる優しい町」を目指してきた。時代は大きく変化し、住民の声は多様化され「民意を反映することの難しさを痛感している」。

答 「動かない」状態が続くことで「動けなくなる」ことが心配。転倒予防や筋力低下予防に取り組み、運動などの必要性や

問 コロナ禍により、巣こもり状態が続く、高齢者の健康悪化が懸念されている。手軽にできる健康対策の推進を。



答 総合的に勘案したうえで、実施についての判断をしていく。

問 高校進学が一般化し、通学費が家計を圧迫している。高校生の通学費補助を。

答 時代の変化はあるにしても、進むべきものと考えている。

進をどの様に捉えているのか。

中井町軽度・中等度難聴児補

てた考えが重要。年齢を重ねると、耳が遠くなり、難聴は日常生活に関わる様々な機能と関係し、認知機能にも影響が及び、理解力や判断力に支障が出、認知症の原因となる脳の萎縮が難聴を引き起こすとも考えられている。

問 QOLの概念は、ソクラテスの「何よりも大切にすべきは、ただ生きることではなく、良く生きること」。物質的な豊かさに満たされた生活でなく、毎日が充実し、心身が満たされた生活に焦点を当てた考えが重要。

に要望する。

答 閉じこもりや高齢者の社会参加意欲にも影響を及ぼし、生活の質の低下につながる課題と認識している。県・国

問 加齢に伴う難聴は気づかぬうちにQOLを下げかねない。軽中度者の補聴器購入補助を。

周知啓発、機会の創出に努めている。

…生活の質

答 個々の理解を深めることを今、重点的に行っている状況。

問 男女共同参画形成の計画は。

答 性別にかかわらず、活躍できる社会を目指し、推進に取り組んでいるが、未だジェンダーギャップが埋められない現状。審議会委員数184名中、女性委員は41名で女性比率は22%。

問 男女共同参画推進の一層の必要性と新たな課題、並びに女性の審議会等の登用状況は。

答 国レベルの検討が必要。国の動向を注視するのが県の回答。

問 町単独で助成を考えるよう提案している。公正・公平に必要としている町民のためにも税の活用を積極的に考えるべき。

答 国に対して手立てを講じるよう働きかける。聴器購入費助成金交付がある。高齢者の方たちにも、優しく手を差し伸べて頂きたい。

一般質問

後期基本計画の 目標数値の達成状況は



井上 泰弘 議員

町長 計画を推進し持続可能なまちづくりを進める



第六次中井町総合計画後期基本計画

問 新型コロナウイルス感染症の感染者が増加しているなか、後期基本計画の初年度である令和3年度は、事業に影響があったと思われる。第六次中井町総合計画後期基本計画の目標数値の達成状況について伺う。

答 関係人口及び転入者数の状況は、

関係人口の今年度実績は、町内NPOが、コロナ禍でも積極的に活動され、目標値を上回る見込み。転入者数は、令和元年360人・令和2年300人・令和3年237人の状況。

問 政府は新規就農者支援制度を見直し、22年度当初予算に盛り込むとされている。これを受け、町は新規就農者の支援を考えているのか。

答 国・県の補助事業を活用し、県や農協と連携し、営農についてサポート活動を継続していきたい。

問 町では、夜間人口が、昼間人口より少ない。これは、町外から通っている方が多いといえる。町は、他の市町から通っている方の、移住要望に対応されているのか。

答 現在、移住相談をオンラインや電話で対応している。今後

も、情報提供をすることで定住促進に努めていく。

問 前期基本計画を含め、人口の減少が止まらない。町は、どう考えているのか。

答 本町の人口減少は、当初の予測を上回る速度で進行している。後期基本計画の各種施策に取り組み、着実に事業を推進することで、課題に向き合っていきたい。

問 合計特殊出生率を令和42年までに1.80に上昇とある。平成30年は、県内で3番目に低い。現在の状況と改善は。

答 合計特殊出生率を確認できる最新のが、令和元年で1.13。過去10年で一番高い数値となっている。これまで取り組んできた子育て支援策等の効果が出ているとらえたい。引き続き、着実な施策の推進に取り組んでいく。

問 小学生の給食費自己負担額0円は、過去に同僚議員が質問している。町長は、1年で終わる事業ではないため、財政等総

合的に考え、実施したいと答弁されている。今までも、どの様に変わって実施することにしたのか。

答 防災デジタル行政無線・厳島湿生公園木道等の事業完了を区切りと判断し、令和4年度に計上した。

問 町民の意向で、転居したい理由は「交通が不便だから」が81.3%となっている。この町民意向を解決する施策は。

答 現在の地域公共交通の体制で、交通弱者等が移動しやすい環境が一定程度確保できていると考えている。また、地域公共交通計画を策定する予定がある。その中で、本町に合った地域公共交通を位置づけていく。

問 空き家は何件あるのか。また、町の関与は。

答 本年度、職員による現地調査と、自治会に協力いただき、所在確認を実施した。その結果、空き家は135件。また、空き家バンク制度では、問い合わせ時に、管理者につないでいく形で運用している。

一般質問

少子高齢化、人口減少のなか、目指す町は



尾尻 孝和 議員

町長 人口減少を緩やかにできないわけではない

問 現実には人口減少が加速した。2010年社人研推計より、当初のスピードを上回る形で進行している。

答 中井町の将来を見据え、政策展開を考えるにあたっては、希望的数値を掲げつつも、社人研推計値が現実になることを見据えた政策検討が必要では。

問 今後の人口をどのように見込むかで、改善センターの長寿命化改修の内容、(仮称)町民センターの検討をどのようにするか、また、ほかの事業との兼ね合いなど、全体が大きく変わってくる。

答 現実の人口減少があるがままに受け止め、そこを基本に据えて検討を進めることが、中井町の将来の世代に負担をかけずに喜ばれるのでは。

問 転出数と転入数がほぼ均衡している現状。これをこのように変える目標で中井町の将来を見据え、政策展開を考えるのが果たして現実的か。

答 今はそのような計画のとおり、できるだけそこに近づけるための努力をしていきたい。

問 社人研推計に基づく児童数は。

答 2065年には、井ノ口小学校も中村小学校も1クラス7名。今から約38年以降にこの水準になって、学校の在り方等は検討しなければいけないと認識。

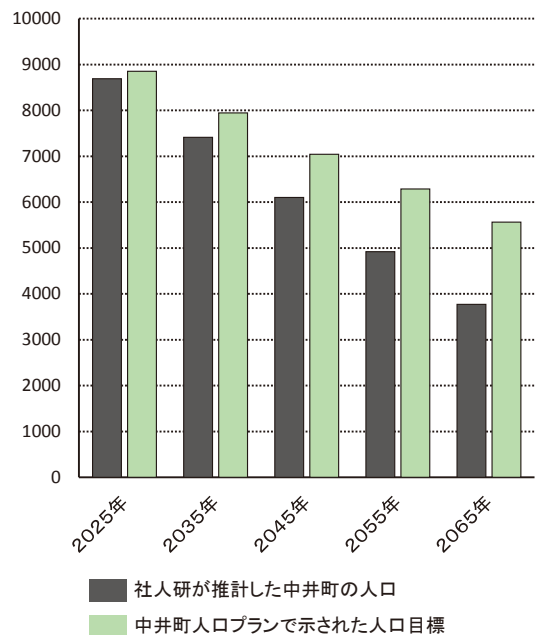
問 町民1人当たりの税収は2020年実績で25万円。2060年想定税収20億円を同年の社人研推計人口4346名で割ると46万円。各種施策を充実できる1人当たりの財源は増える。

答 減少を緩やかなカーブにするのは、できないわけではないと思っている。

問 働きながら出産、子育てすることへの支援、教育費への支援など、地方自治体としてできることもたくさんあるが。

答 5年ごとに(計画が)改訂されれば、その都度そこで判断をさせていただく。

中井町の人口推計



問 人口減少で町の税収が減ると、町民へのサービスも削らなければならない。このように短絡的に考えるのではなく、実際の税収と人口推移など総合的な検討を行い、可能性の広がりをつかむべきでは。

答 計算上ではそうなるかもしれないが、それが全てではないかなと。

問 認知症の問題、健康と医療の問題、介護の問題、買物難民の問題、高齢者の貧困問題など、一人ひとりの抱える問題はその人に特有の問題であり、その一つひとつを個別に解決を図っていく必要がある。

答 小さな町だから、町民と行政との物理的、心理的な距離をより近くすることが可能だし、的確な対応もできるのでは。そこに可能性を見いだすべきでは。

問 町として町民にしっかりと寄り添ったなかでやっていくのは、引き続き、今後も同様かというふうに感じている。

※社人研・国立社会保障・人口問題研究所(厚生労働省の機関)

一般質問



多田 勲 議員

高齢者のさらなる支援を

町長 地域包括ケアシステムの深化を進めている

急速な高齢化に伴い、地域において支え合いながら、自分らしく生き生きと活動でき、誰もが幸せに暮らせる町を目指した施策や取り組みを充実させていく必要がある。

問 地域住民・民間会社・行政で買ひ物弱者対策検討会を作る考えは。

答 民間事業者を含めた関係機関と確認し連携しながら対応していきたい。買ひ物弱者対策検討会を作る考えは現在ない。

問 ※オーラルフレイル対策を推進する考えは。

答 健口体操、ブラッシング、入れ歯のお手入れなど口腔全般に関する講座を開催するなど、オーラルフレイル対策を進めている。

問 誤嚥性肺炎や口腔がんなど重大な疾患は、歯科検診を受けることで予防できるものもあると聞かすが、特定健診に歯科検診を加えたらどうか。

答 必要性は十分認識している。

75歳を迎えたときに歯科検診ができる案内をしている。

問 高齢者の終活に関する相談支援は。

答 今後、高齢化の進展に伴い、問い合わせや相談が増えること



も想定されるので、他の取り組み事例等を検証し、対応について関係機関と協議していく。

問 高齢者等が意思表示できない前、今後の医療・ケアについて、家族や医療関係者と話し合うアドバンス・ケア・プ

ランニングについての考えは。

答 必要で意義ある取り組みと想うが、基礎自治体として、どこまでそういったケアができていくのかは、今後の研究課題、調査課題としたい。

問 エンディングノートの普及啓発の考えは。

答 必要性は認識している。何らかの取り組みを進めていきたいと考えている。

問 本人が元気づちに、緊急連絡先等の終活関連情報を町に事前登録し、万が一、警察等から問合せがあったとき、町が答える事前登録サービスを導入する考えは。

答 意義ある事業と考えている。町民の意識等を含め、研究課題とさせていただきたい。

問 1市5町の成年後見センター計画の取り組み状況は。

答 令和4年度の開設に向けて、準備等を進めている。センター

自体は南足柄市に設置し、各町は一時相談窓口になってくる。

問 総務省のデジタル活用支援推進事業に対し、どのように取り組んでいくか。

答 10月にスマホ教室という形で行った。町民の要望等があれば、そういう事業も活用しながら、今後も対応していきたい。

問 高齢者にインターネットに親しんでもらうために、自治会館にインターネットを整備する考えは。

答 自治会館にインターネットを整備することは、今現状では考えていない。

問 高齢者が高齢者を支援する、高齢者デジタルサポーターボランティア制度を作ったらどうか。

答 この1月から、中井町まちづくりパートナー制度の要綱を改正し、1丁分野等の募集をかけている。

※オーラルフレイル…口腔機能の衰えが全身の老化につながるという考え方です。

一般質問

町の施策はコロナ長期化に 対応できているか



加藤 久美 議員

町長 国、県と連携しながら各種施策や事業を推進

問 コロナウイルスの出現から2年、私たちの暮らしや人々の考えは、より将来的な安心と堅実さを求めている。町民の命や健康、生活を守る地方自治体の公共的な役割はとても大切な。国や自治体の政策により、暮らしは大きく変化する。自治体の施策によっては、住民が苦しんだり、助けられたりもする。コロナ禍で社会情勢が悪化する中、社会的弱者ほど、事態があつという間に深刻化するので、自助や共助ではなく公助が大切になるが、町の考えは。

答 感染拡大防止対策や社会的弱者など厳しい状況に置かれている方々への対応は、国、県と連携し、各種施策や事業を推進している。社会経済情勢の変化への対応を行い、社会保障費の増大、公共施設・インフラの長寿命化対策など多くの課題に向き合いながら、第六次の中井町総合計画後期基本計画に基づき、各種施策を展開しつつ、町の将来像の実現に向けて取り組む。

問 地方自治体での町長の権限はとても大きく、町長の考え、方針が大きく町の在り方を変え

ていく。任期も残すところ数カ月だが町長の意向を伺つ。

答 大優先にコロナ対策であり、その中で総合計画に基づいた予算組みをしている。それを全て熟していききたい。町民が中井町に本当に住んで良かったと感じ、発信して頂ければ更に良い。

問 町の経済は、グリーンテックができたことで随分潤い安定した財政を保つことができている。次は町民の暮らしをどう良くするかの町民幸福度の追求であり、公共の福祉の部分である。人が育つ良い環境をつくるのが公共の在り方だ。まだまだ町民の不満、要求があり、そこへの対応ができていないのではないかと町長の考えは。

答 毎月1回、町長相談というものもある。対応はしていきたく自分自身は思っている。全町民が納得する事業はむずかしい。町民のために実際やっている。

問 「ごつも町民の目には、表向きなことばかり。実際、人口は減る一方なのに、表向きばかりよい事業に予算をつけている。

町がまるで営利目的とした企業であるかのように、財政を豊かにすることはかりを追求し、町長は商売人のような。町民の不满には目を向けていないと感じてならない。「ごつもした町民からの意見があるが、町長はどのよつに受け止められるか。

答 財政の資金力がなければ町民のための事業をすることも難しくなる。最終的には税金、要するに町の資金力のために努めている。事業をするには、やはり資金が必要。9千90人の方に理解していただくのはなかなか難しいかもしれないが、努力はしていきたい。

問 町民は、役場を選べない。役場は、事業変更できないし、撤退もできない。等価交換もできないし、効果が見えにくかったりもする。どんな事業をやっても倒産する



わけではなく、責任の持っていないところが見つかりにくい。だからだと効果のない事業を続けていくという危険性もある。やると決めた事業はやるというこつではなく、常に町民に向き合っていること、見直しながら行っていくことがとても大切だ。通りくくって仕方がない生活道路なども、まだまだたくさんある。残りの任期中に進めていただきたい。

答 持続可能なまちづくりを着実に進めてまいりたい。

ぎかいトピックス

令和3年度議会報告会

再生回数、270回強

アンケートは45件の回答

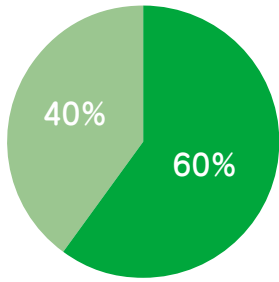
対面式と動画配信で開催する予定だった令和3年度議会報告会は、新型コロナウイルス感染症が長期化する中、動画配信のみの開催となりました。2回目となる動画配信は昨年度と比較して、数は減少したものの2カ月弱で270回以上再生いただき、アンケートは45人に回答いただきました。ここにその結果をお知らせします。

対面式と動画配信、双方で準備

議会広聴委員会では、令和3年度の議会報告会を、対面式と動画配信の双方で準備してきました。

昨年度の議会報告会動画を

● 見た (27) ● 見ていない (18)



オミクロン株が猛威を振り始めたことから、対面式を取り止め、動画配信のみと決定し、そのお知らせを含む、報告会資料等を議会だより199号に掲載しました。動画も議会だより発行日である2月1日から見られるようにしました。前回の動画は、委員会ごとにと短く3本に分けましたが、視聴回数に100回以上ばらつきがあることから、今回は20分強の1本の動画としました。

再生回数は前回が1本目333回だったのに対し、8割の273回にとどまりました。

さらにアンケートへの回答は前年度の半分強にとどまりました。ネットフォームの手軽さが回答増につながればと考えましたが、回答率は視聴者の2割となり、動画視聴からアンケート回答につなげる工夫が今後の課題です。

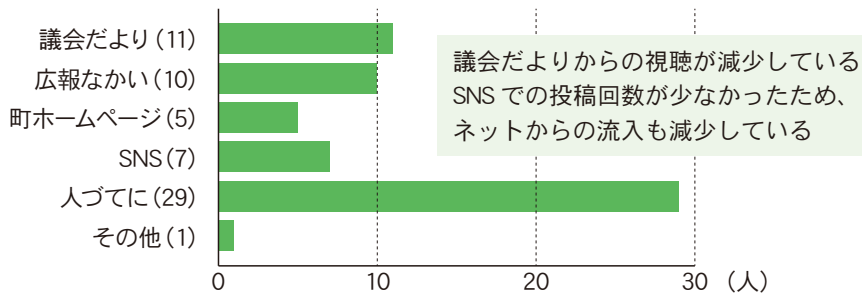
アンケートによると、昨年度と今年度両方見た方は6割、初めて見た方は4割となっており、視聴の定着と視聴者の拡大の双方で

アンケート回答者の年齢(45人中)

10代	0人	50代	18人
20代	3人	60代	7人
30代	0人	70代	2人
40代	14人	80代~	1人

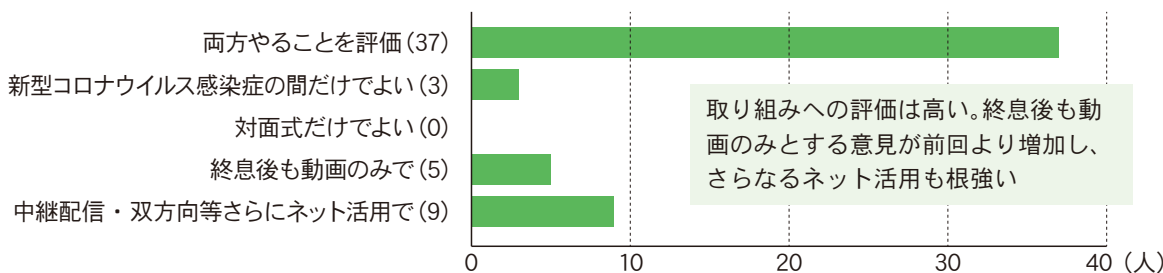
性別 男27人 女性17人 答えない1人

議会報告会の動画開催をなんで知りましたか(複数回答可) 以下()内は回答者数



議会だよりからの視聴が減少しているSNSでの投稿回数が少なかったため、ネットからの流入も減少している

今後、議会報告会を対面式と動画の両方で行いますが、どう思いますか(複数回答可)



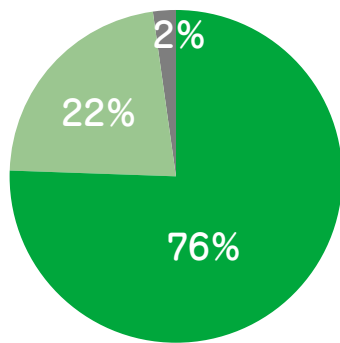
取り組みへの評価は高い。終息後も動画のみとする意見が前回より増加し、さらなるネット活用も根強い

取り組みの余地があるようです。回答者の年齢層は昨年と同様、40、50代が6割

を占め、60代以上が3割、10代、30代の回答はあまりありませんでした。

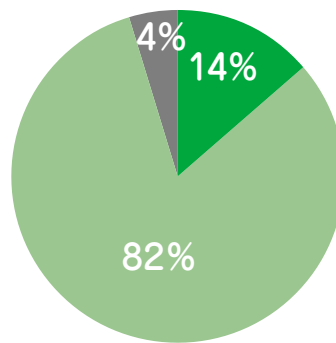
報告動画の内容は(45)

- わかりやすい (34)
- どちらとも言えない (10)
- わかりにくい (1)



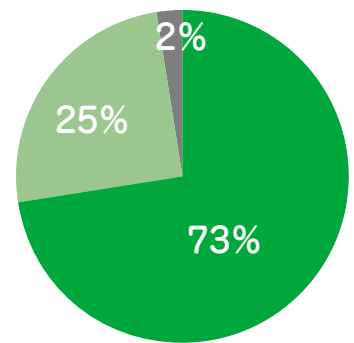
報告動画の時間は(44)

- 長い (6)
- ちょうどよい (36)
- 短い (2)



報告動画の構成や編集は(44)

- 見やすい (32)
- どちらとも言えない (11)
- 見にくい (1)



() は回答者数

内容・長さ・見やすさに一定評価

内容、動画の長さ、構成や編集については7〜8割が肯定的な意見であり、この傾向は前回と同様になっています。自由回答にも、都合のよい時間に視聴や、見直したり出来る

メリットが挙げられており、「今後もテロップや表、図を多用して幅広い年齢層に視聴していただくようお願いをいただきました」とのご意見をいただきました。

う工夫をしていますが、「議会ですから仕方ないとは思いますが、少し硬いと感じました。もう少し柔らかかな雰囲気でお話しされても良いと思います」との指摘もあり、どのような形が求められているか、さらに検討を重ねていきます。

字幕を導入し見やすくしました

また昨年度、テロップを出してほしいとの要望を受け、動画配信サービスの機能である「字幕」を活用し、全発言を字幕でもご覧いただけるようにしています。ぜひご覧ください。

対面式とオンラインで多世代の方と

取り組みは、他町議会からも注目され、どのように作成しているのか、問い合わせをいただいています。

議会報告会を準備する広聴委員会で、令和3年度は、たとえコロナ禍にあっても、可能な限り対面式の報告会で直接町民の方と対話することを模索

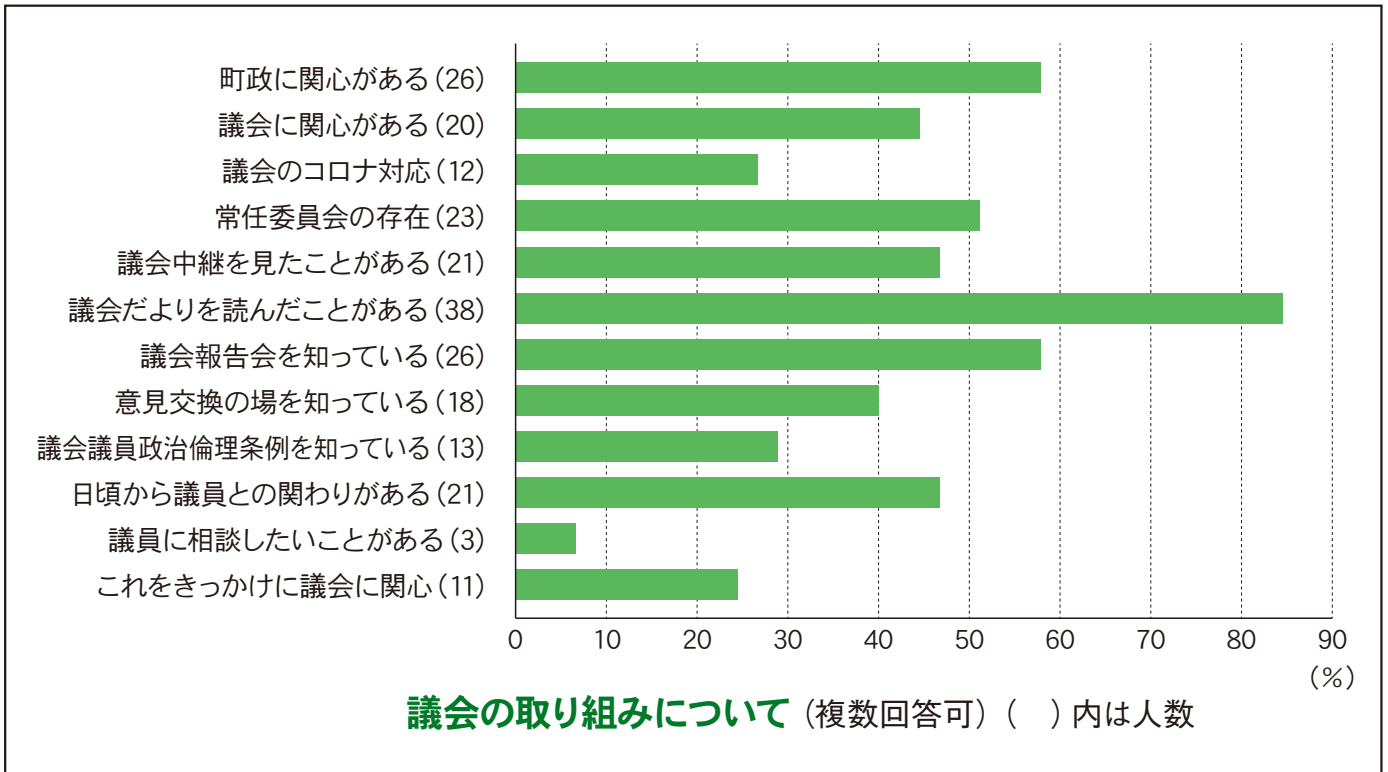
重要な取り組みだと思えます。今後とも町民、町、地域のためにご尽力ください。よろしく願いいたします。」という指摘をいただいた通り、時代と状況に即し、引き続き多世代の町民の皆さまと、町政、議会についての情報共有と意見交換を続けていきます。

新型コロナウイルス感染症に伴い、全国の議会でも議会報告会への取り組みが難しくなっています。

議会報告会そのものの参加者数の低迷や報告内容の固定化に加え、コロナ禍にあつて、本町議会は動画配信の手法を取り入れまし

すべき、と同時に、オンラインの時代を迎え、動画配信も用意し、多チャンネルの報告会に取り組みと決定し、準備をしてみました。

アンケートでも「議会報告会は町民に議会・議員活動の詳細、町政の課題等を知っていただくためにとても



寄せられた町内の課題

- ・ 里山景観を損なう太陽光発電の無秩序な開発を規制しては。
- ・ 役場に設置されているEV用急速充電設備の利用可能時間拡大の検討を。
- ・ 災害時の避難所対応は。
- ・ 災害時のペット同伴避難について取り決めはあるのか。

広聴ご意見箱、募集しています

- ・ コロナ禍で子どもたちが我慢を強いられている。
- ・ 職員採用試験の年齢制限を撤廃しては。
- ・ 厳島湿生公園の木道改修で生き物たちは大丈夫？

議会広聴委員会では町民の皆さまから、町政や議会へのご意見・ご質問をいただき、広聴ご意見箱を開設、ネットフォームのアンケート形式でお寄せいただけます。

これまで「ご意見箱」に寄せられたご意見・ご質問への回答をまとめました。議会ホームページでご覧いただけます。

今後は定期的に議会だよりや議会ホームページに掲載できるよう、取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



認知度調査の結果から見えた議会の課題

回答者の議会だよりの認知度は、8割強と昨年度より1割高く、町政と議会への関心は前回比の2倍となっており、議会の取り組みについては、議会報告会の認知度が前回3割強から、6割近くになったことを筆頭に、コロナ対策や議会の各種取り組みについての認知度も1割以上伸びています。これは動画配信の効果と云うより、回答者の町政

や議会への関心の高さがうかがえます。

自由回答で寄せられたご質問、ご意見には、町内の課題だけでなく、報告内容についてさらにご質問をいただきました。また、議員活動にばらつきがある、一般質問は簡潔にした方がよいなど、議会や議員活動へのご意見もいただいています。ご協力ありがとうございました。

こうしたご質問等への回答を含めたアンケート全体をまとめたものは、議会ホームページでもご覧いただけます。

動画まだ見られます

議会報告会の動画は左のQRコードからご覧いただけます。

アンケート



議会のつぎ

2 月

8 日 議会全員協議会
21 日 議会運営委員会

3 月

1 日 定例会本会議
2 日 定例会本会議
3 日 総務経済常任委員会
4 日 文教民生常任委員協議会
7 日 定例会本会議
10 日 定例会本会議
11 日 議会運営委員会

4 月

6 日 議会だより編集委員会
7 日 議会運営委員会
13 日 議会だより編集委員会
18 日 議会運営委員会
26 日 議会全員協議会



委員会から報告します



総務経済常任委員会

3月3日に委員会を開催し、所管事務の研究テーマ「今後の交通システムについて」を協議し、引き続き、継続審査とすることをしました。

当委員会の所管事務のテーマであり「地域集会施設の現状と今後について」を調査するため、3月4日に中村下会館を視察し、担当より説明を受けました。その後、委員会を開催し、引き続き、継続審査とすることをしました。



文教民生常任委員会

議会を傍聴しませんか

今回の定例会は

6月7日(火) 開会予定

湘南ケーブルテレビ(102チャンネル)生放送

リモコン操作方法

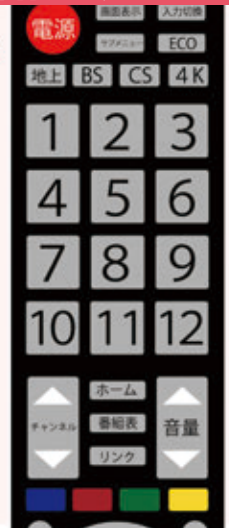
102 地デジ ch

地上 → **10** を

押してから
チャンネルボタンの

▲ を1回押します

SCNへの加入
が必要です



編集後記

新年度がスタートし、議会だより編集も199号発行が終わりました。毎号、編集委員が願いに上がり「町民の声」を寄稿して頂きありがとうございます。

この中には寄稿者の意見・指摘・提案等々が述べられていて町の発展を願う思いが伝わってきます。特に転入された方の声に関心があり、この町がどのように映っているか、また、どのように評価されているか興味深く拝読させていただいています。これからも『町民の声』は政策資源の宝庫』と捉え大切にしていきたいと思えます。

今年度一年間どうぞよろしくお願い致します。

議会だより編集委員

委員長 多田 勲 委員 岸 光 男
副委員長 古宮 祐二 委員 成川 保 美
委員 石渡 正 次

町民の声

相原俊翠さん (久所)

60年前に中井町に住み始めた。当時女性が働くこと、特に出産後はなかなか続かない環境でした。保育園がなかったので義母に昼間は面倒を見てもらっていました。義母に都合がつかず、自分が出動しなければいけない状況の時は、休暇届を提出し、子ども連れで出勤した日が何度かありました。すると子育てを優先にした方が退職をせまられました。会議においては忌憚のない意見を求められますが、発言すればいじめられ、それがない意見が求められますが、

現在、自治会の方々に常日頃何かと助けて頂いています。朝には通学の小学生、高齢の方々の達者なお姿から元気を頂いています。

中井町に住めて良かったの思いです。

自治会の皆様、町民の皆様のお幸せをお祈り申し上げます。